

かんでんクラシック・スペシャル オペラへの誘い2009

W.A.MOZART

トルコ帝国の太守の宮殿。美しい姫君たちが逃走を企てる。私の大切な人を誘拐するのはいったい誰だ?

ヴォルフガング・アマデウス・モーツアルト

歌劇「後宮からの逃走」

ウィーンで初演されたモーツアルトのドイツ語のオペラは最高の人気を博し、彼が生きている間にこれほどの喝采を浴びたオペラは他になかった。イタリア・オペラに劣らぬ豊かな音楽を纏えたドイツ・オペラの誕生だった。●全3幕 ドイツ語・字幕付・台詞部分は日本語

Die Entführung aus dem Serail

- セーリム(トルコの太守): 片桐直樹
- コンスタンツェ(ベルモンテの恋人): 福永修子
- ブロンテ(コンスタンツェの侍女): 高嶋優羽
- ベルモンテ: 西垣俊朗
- ペドリロ(ベルモンテの従僕・庭園の番人): 八百川敏幸
- オスミン(後宮の番人): 松下雅人
- 指揮: 新涌英洋
- 管弦楽: 大阪フィルハーモニー交響楽団
- 合唱: 関西二期会

主な楽曲 ●序曲 ●風来坊どものすることは(オスミン) ●コ
ンスタンツェ、君に再び会えるのか(ベルモンテ) ●三重唱「と
つとと失せろ」(ベルモンテ・ペドリロ・オスミン) ●やさしい
言葉にお世辞をまぜて(ブロンテ) ●どんな責め苦があろう
とも(コンスタンツェ) ●二重唱「バッカス万歳!」(オスミン・
ペドリロ) ●おお、わしは勝ちどきをあげるのだ(オスミン)
●「オードヴィル」「決してお情けは忘れません」(全員)

2/26木27金 18:30開演 | ザ・シンフォニーホール

抽選で各日ペア400組800名様(2日間計1,600名様)を無料ご招待

■お問い合わせ/TEL.06-7501-0317 関西電力「オペラへの誘い」係(受付時間 平日9時~17時。2月27日まで。)

■応募方法/ハガキに郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・希望公演日(26・27日のいずれか1日)をご記入のうえ、お申し込みください。

■宛 先/〒550-8691 大阪西支店 郵便私書箱 第111号 関西電力「オペラへの誘い2009」係

*関西電力のホームページ(<http://www.kepco.co.jp>)からもご応募いただけます。

■締 切/2009年1月23日(金)必着

■当選発表/厳正なる抽選のうえ、ペア座席引換券の発送をもって発表にかえさせていただきます。

*ご応募いただいた個人情報は、本コンサートに関する目的以外には使用いたしません。

*応募後の希望公演日の変更はできません。*満6歳未満のお子様の来場は、ご遠慮ください。

*応募の受け・受理のお問い合わせに対してもお答えできませんので予めご了承ください。

*応募いただきましたハガキは返却できません。(往復ハガキでのご応募は受け付けておりません。)

*お客様の住所が不明などで引換券がお届けできない場合は、当選を無効とさせていただきます。

かんでんクラシック・スペシャル
オペラへの誘い2009
 いざな
 W.A.Mozart
 Die Entführung aus dem Serail
 モーツアルト:歌劇「後宮からの逃走」全3幕

かんでんクラシック・スペシャルは
 今年で20回目の公演を迎えることとなりました。
 今回は、ザ・シンフォニーホールの舞台で、
 モーツアルトの歌劇「後宮からの逃走」を上演いたします。
 海賊に襲われてトルコの後宮に閉じられた姫君を、
 計略をめぐらせて恋人の青年が救出する物語。
 音楽芝居の様式を踏まえてドイツ・オペラの名を高めた
 モーツアルトの名作をお楽しみください。
 みなさまからの多数のご応募を、心よりお待ちしています。

● 関西電力 関西電力共済会館

PROFILE

■指揮: 新通英洋 (しんどおりひでひろ)



武藏野音楽大学音楽学部ピアノ専攻を経て同大学大学院音楽研究科修了後、桐朋学園大学音楽学部オーケストラ研究室に在籍し、指揮を高階正光、尾高忠明、秋山和慶、黒岩英臣、小澤征爾の各氏に師事。1991年、モスクワ国立音楽院Summer School指揮科においてワシリ・シナイスキー、レオニード・ニコライエフの両氏に師事した。桐朋学園在籍中より名古屋二期会において外山雄三氏、藤原歌劇団において福森湘氏のもとで副指揮者を務め、数多くの主要なプロダクションに関わりながらオペラのレパートリーを広げ、研鑽を積んだ。1994~95年、英国ロイヤルオペラハウスにおいてベルナルド・ハイティンク氏やクリストフ・フォン・ドホーニ氏のリハーサルで学んだほか、イングリッシュ・ナショナルオペラ、ウェルジョ・ナショナルオペラで研修。またBBCウェーラーズ交響楽団において尾高忠明氏に就いてさらに研鑽を重ねる。1995年ボーランドの第5回フィテルベルク国際指揮者コンクールにおいて第2位受賞。あわせて特別賞としてグレッキ賞を授与された。翌1996年ボーランドラジオ放送から招請され、ワルシャワでシンフォニア・ヴァルソヴィアを指揮して輝かしいヨーロッパ・デビューを果たした。1998年、読売日本交響楽団による演奏会形式オペラ公演、プリテン「ピーター・グライムス」の日本における2度目の原語上演において尾高忠明氏の副指揮者をつとめた。1996年、97年の二度に渡る英渡Aldeburgh、Suffolkのプリテン図書館を訪れ、新出版された手書き草稿からの新しい発見(初演のリハーサルで破棄されたと思われるダイアログ原稿)の再構成を試み、作曲家と台本作家による草稿の段階で存在した終幕ダイアログを復元し、世界初のプリテン自筆草稿ダイアログ・シーン付きの演奏準備に尽力した。これまで神奈川フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、札幌交響楽団、東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、ポーランド国立シレジアフィルハーモニー管弦楽団、シンフォニア・ヴァルソヴィア(ワルシャワ)、東京佼成ウインドオーケストラ等を指揮。近年はオペラ等舞台芸術にも活動の場を拡げつつあり、2005年1月豊田市コンサートホールでのヨハ・シュトラウスII世:喜劇「こうもり」のホールオペラ公演を成功に導いたほか、梅若六郎氏による能『隅田川』とともに上演された同氏演出によるプリテン:歌劇「カーリュー・リヴァー」を指揮し各方面からの好評を得た。作品に内在するドラマを織細かつ大胆に鳴り響かせるダイナミックな指揮は今後ますます内外での活躍を期待させる。

■管弦楽: 大阪フィルハーモニー交響楽団



1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で生まれ、1950年社団法人化、1960年には改組、現在の名称になった。創立から2001年に亡くなるまでの55年間朝比奈隆が指揮者を務め、個性と魅力溢れるオーケストラとして親しまれてきた。2003年4月、大植英次が音楽監督に就任。またこれまでに遠山信二、外山雄三、若杉弘、秋山和慶、手塚幸紀、大友直人等の名指揮者と専属契約を結んだほか、内外の一流管弦楽家と共に演奏してきた。「定期演奏会」はザ・シンフォニーホールで、毎回2公演、年20公演開催している。また大阪以外の全国各地域の文化振興にも貢献している。数回にわたるヨーロッパ、北米、韓国、台湾での演奏旅行では各地で絶賛を博した。レコーディング活動も活発に行っている。日本で一番多くレコード、CDを発表しているオーケストラである。2007年4月、創立60周年を迎えた。

■ゼーリム(トルコの太守): 片桐直樹 (かたぎり・なおき●語り)



京都教育大学音楽科卒業。東京芸術大学大学院音楽研究科声楽専攻(オペラ科)修了。第22回藤堂頸一郎音楽褒賞を受賞。1988年、関西二期会オペラ公演『ドン・ジョヴァンニ』レボレッロ役でデビュー。その後、関西二期会を中心に『ラインの黄金』セヴィリアの理髪師『フィガロの結婚』蝶々夫人『ラ・ボエーム』『ドン・ジョヴァンニ』のタイトルロール、『ハリジアール』『ランメルモール』のルチア『コシ・ファン・トゥツェ』『こうもり』『椿姫』『ナクソス島のアリアドネ』『カルメン』『メリーウッド』『後宮からの逃走』『ばらの騎士』『魔笛』『椿姫』『トスカ』『リゴレット』『ドン・カルロ』等、数々のオペラ公演に出演し、明るく気品のある声質と、端正な音楽性を以て、いずれも好評を博す。特に存感のある演技力による多彩な表現力には定評がある。関西二期会会員。

■コンスタンツエ(ベルモンテの恋人): 福永修子 (ふくなが・なおこ●ソプラノ)



大阪音楽大学声楽科次席卒業。平成17年度兵庫県芸術奨励賞受賞。89年アメリカデビュー後、'90年より渡独、バイエルン国立劇場にて研鑽を積む。『セヴィリアの理髪師』『ランメルモール』のルチア『後宮からの逃走』『フィガロの結婚』『椿姫』『こうもり』『カルメン』『魔笛』『バ・タ・クラン』(日本初演)、『天守物語』(関西初演)『ボッペアの戴冠』『魔弾の射手』『愛の妙薬』等に出演。また兵庫県立芸術センター佐渡裕プロデュースオペラ『魔笛』や『ヘンゼルヒグレーテル』等に出演。指揮者・演出家から絶大な信頼と高い評価を得、絶賛を博す。華やかな舞台姿に加え、高音域のコロナトゥーラを駆使する確かな歌唱力に定評があり、今最も注目されている。関西二期会会員。

■ブロンデ(コンスタンツエの侍女): 高嶋優羽 (たかしま・ゆうは●ソプラノ)



大阪音楽大学音楽専攻科声楽専攻修了。渡邊弓子氏に師事。在学中、『こうもり』『ドン・パスクワーレ』『ドン・ジョヴァンニ』『魔笛』卒業演奏会等に出演。第57回全日本学生音楽コンクール大阪大会入選。オペラは2006年関西二期会室内オペラ公演、G.ガッツァーニ作曲の『ドン・ジョヴァンニ』のドン・カルロ・ウイリアムズデビューや、同年秋には関西二期会『魔笛』で夜の女王に扮擢された。これまでに、『魔笛』の童子I、『リゴレット』のジルダを演じる他、各種演奏会のソリスト、オーケストラと共に。これから活躍が最も期待される有望なソプラノである。関西二期会準会員。

■ベルモンテ: 西垣俊朗 (にしがき・としろう●テノール)



大阪音楽大学大学院修了。在学中よりカンタータ、オラトリオなどで活躍。ハバッハの「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」等の「エヴァンゲリスト歌い」として高く評価されている。オペラでは1976年東京オペラ・プロデュース公演のロッシーニ『オーリー伯爵』でデビュー。『放蕩息子』『スペインの時』『ビザ・ラ・マンマ』『サロメ』『カーリュー・リヴァー』等に出演。また『魔笛』『ドン・ジョヴァンニ』『セヴィリアの理髪師』『タ鶴』『真夏の夜の夢』『こうもり』『コシ・ファン・トゥツェ』『愛の妙薬』『フルスタッフ』『後宮からの逃走』『魔弾の射手』『金閣寺』『エチレンラトラ』等の主役をつとめた。昭和59年度神戸市文化奨励賞受賞。平成6年度兵庫県芸術奨励賞受賞。関西二期会会員。

■ペドリロ(ベルモンテの従僕・庭園の番人): 八百川敏幸 (やおかわ・としゆき●テノール)



大阪音楽大学卒業。同專攻科修了。1995年から1996年ウィーンに留学。平成13年度大阪府芸術劇場奨励新人賞受賞。関西二期会オペラは『春琴抄』『糸川真平』『魔笛』『ノモスク』『フィガロの結婚』『ドン・パジリオ』、『ナクソス島のアリアドネ』『スカラムッチャ』、『後宮からの逃走』『ペドリロ』、『ばらの騎士』『ウアルツアッキ』などに多数出演。特に2001年『バルジアール』ではタイトルロールを熱演し絶賛を博した。また『こうもり』『天国と地獄』『ワイン気質』『エヌツイアの一夜』等で主役を演じるなどオペレッタの分野にも積極的に出演。ジョイントリサイタルを始め各種演奏会にも多数出演するなど意欲的な活動を行っている。関西二期会会員。

■オスミン(後宮の番人): 松下雅人 (まつした・まさと●バス)



国立音楽大学卒業。同大学院オペラ科修了。ローテリー財团奨学生としてオーストリア・モーツアルテウム音楽院に留学。ドイツ・ボン歌劇場専属バス歌手として契約。『トスカ』『アンジェロッティ』役でデビュー。『タンホイサー』『蝶々夫人』『リゴレット』『湖上の美人』『アンドレア・シェニエ』『アドリアーナ・ルク・ブルーム』『サムソンとテリラ』『魔笛』『シモン・ボッカネグラ』等多数のオペラに出演。帰國後、『アレバートヘリング』『魔笛』『ラインの黄金』『カルメン』『ワルキューレ』『後宮からの逃走』『金閣寺』『ドン・カルロ』『蝶々夫人』『タ鶴』『ナクソス島のアリアドネ』等で好演。国立音楽大学70周年記念オペラ『セヴィリアの理髪師』のドン・パジリオ役に出演。恵まれた体躯と重厚なセリオーソ・バスとしてのレパートリーも広い。関西二期会会員。